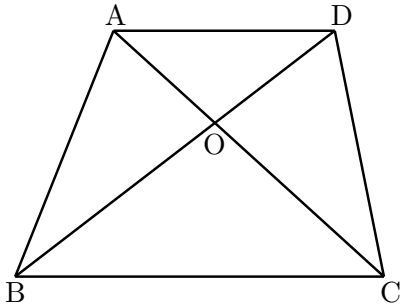
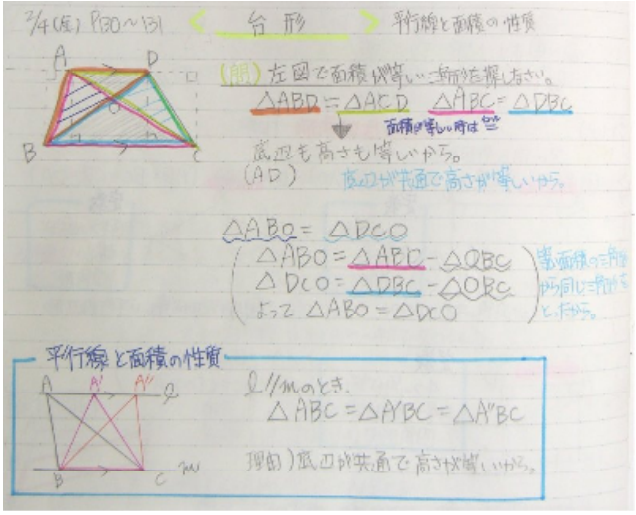
2.5.5　台形と三段論法

これも有名な教材ですね。台形 ABCD において対角線を書きその交点を O としたとき面積が等しい三角形を探す問題です。



3 組の等しい三角形と等しくなる理由はわかりますよね。生徒は見つけることはできるのですが,「どうして等しいのだろう？」という問いにちゃんと答えられる生徒は少ないです。ましてや △ABO と △DCO が等しい理由はなかなかすぐにはわかりません。

学校図書の教科書では問いの問題になっています。でも宿題で終わらせるにはもったいない問題だと思っているので取り上げました。

教科書が平行四辺形→長方形・ひし形→正方形→台形 (平行線の性質) という教材の並びになっているので，自分もその流れで指導していますが，台形 (平行線の性質) →平行四辺形→長方形・ひし形→正方形の方が自然な感じに見えるんですけど，どう思いますか？ また，三段論法という言葉は教科書には載っていませんが載せるべきなんじゃないかなって感じています。